

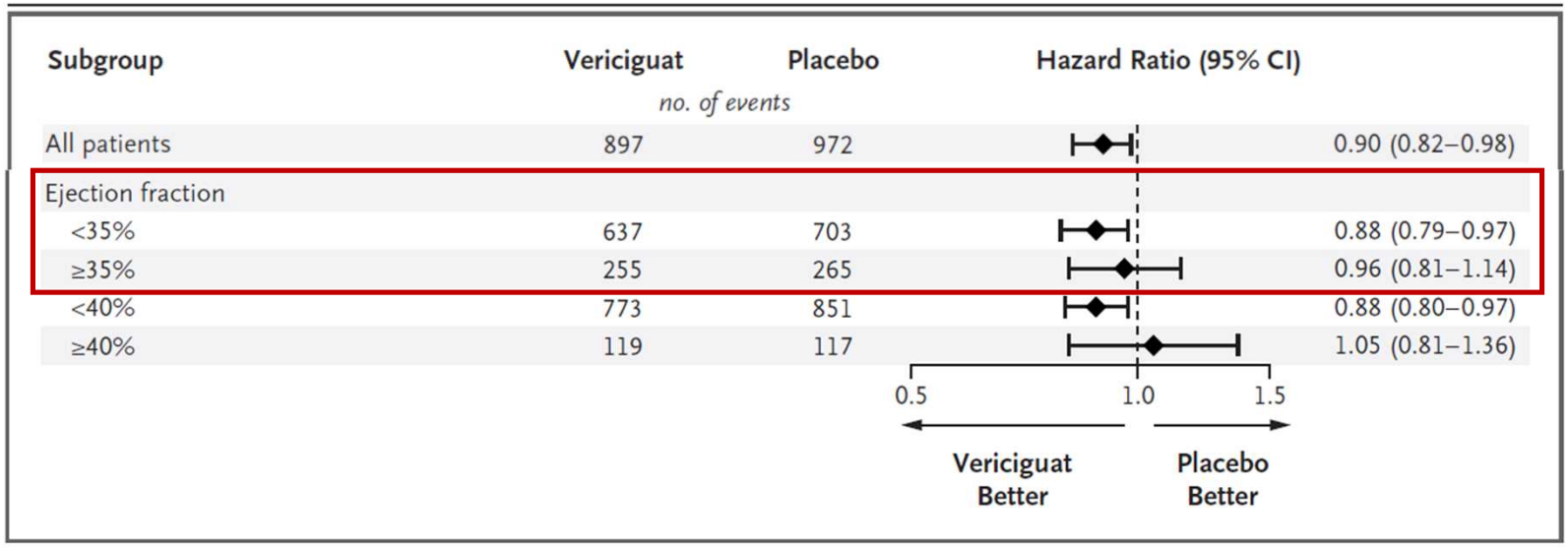
Web資料
（４）EF中等度低下では主アウトカムの改善なく、EFが著明低下でのみ改善？

2026-11-9

薬のチェック編集委員会

図１：HFrEFにおけるEF程度別主アウトカムのサブグループ解析結果

VICTORIA試験



VICTOR試験

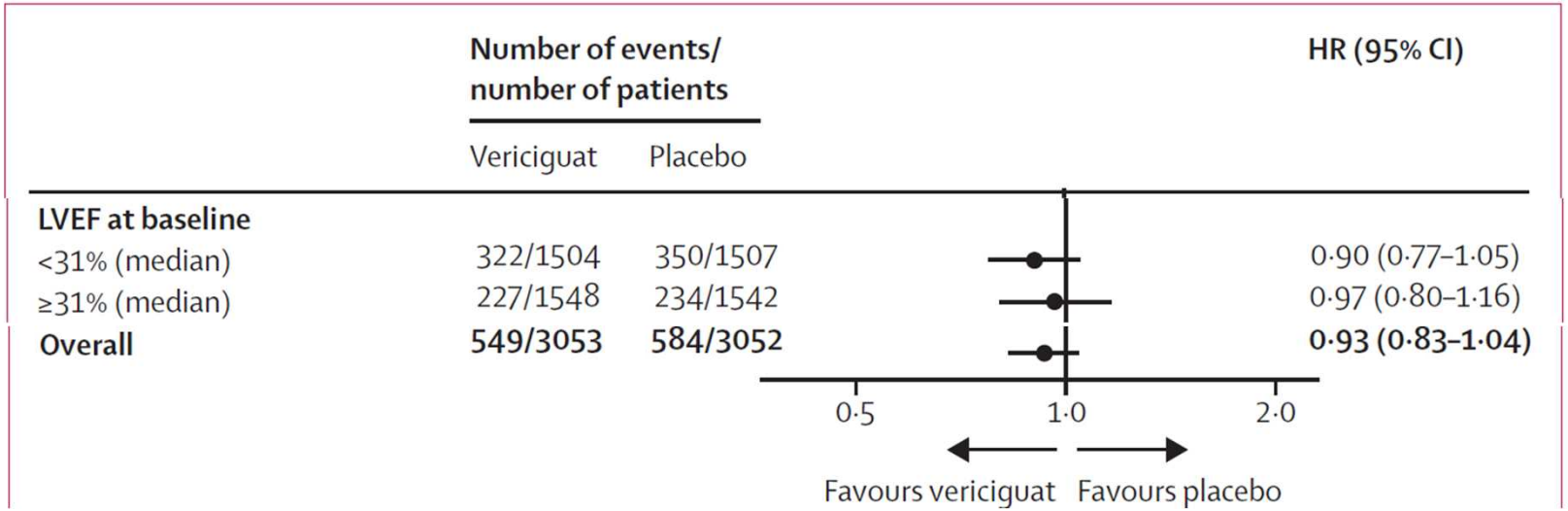


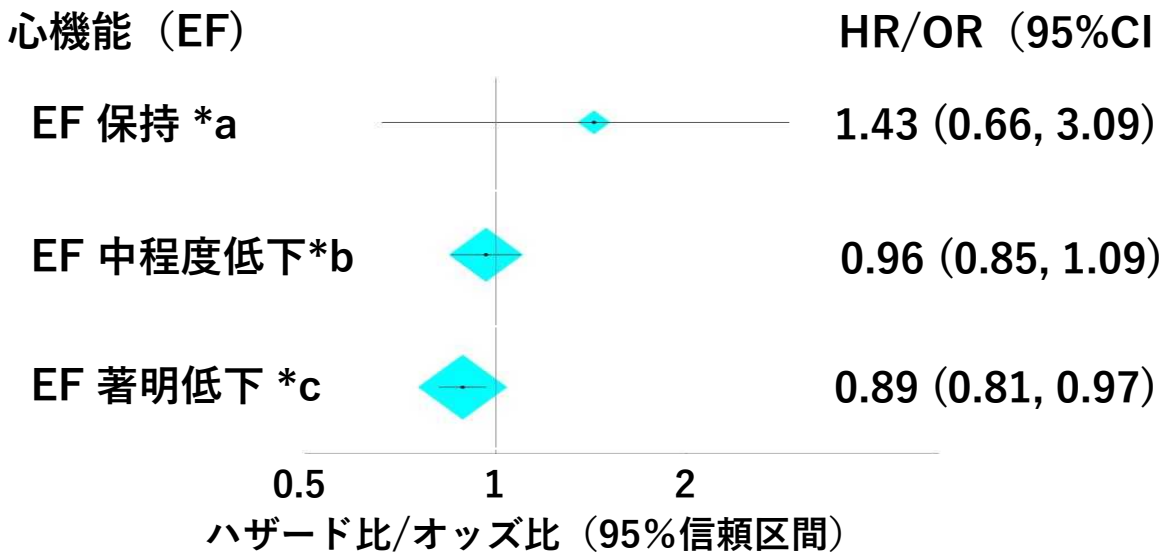
表2：EF 中等度低下、著明低下別、主アウトカム

紙媒体の表２と同じ

試験名 [文献]	ハザード比	95%信頼区間		P 値
		下限	上限	
VICTORIA[14] EF>=31	0.97	0.80	1.16	0.748
VICTOR [15] EF>=35	0.96	0.81	1.14	0.640
EF 中等度低下総合	0.96	0.85	1.09	0.574
VICTORIA[14] EF<31	0.90	0.77	1.05	0.183
VICTOR [15] EF<35	0.88	0.79	0.97	0.015
EF 著明低下総合	0.89	0.81	0.97	0.006

EFが著明に低下した心不全例でのみ主アウトカムの有意な低下が認められ、中等度低下例では、主アウトカムの有意な改善は認めなかった。特に単独で有意な低下を示したVICTOR試験のEF著明低下については、背景因子が一貫してベルイシグアト群に有利であったことを考慮すると、メタ解析結果（総合）も含めて、主アウトカムのリスク低下を示す信頼できる根拠として採用することは困難である。まして、1.5年以降の長期予後に関しては、症状、主アウトカム、総死亡を含めて不明である

図２： EFの程度が低いほど主アウトカム危険度が低下傾向か？



***a：**主アウトカムのイベント数と分母が不明でありハザード比、オッズ比が不明であった。そこで、死亡に至る有害事象+有害事象としての心不全のオッズ比で代用。
***b：**EFが35%以上45%未満（VICTORIA試験）または31%以上40%未満（VICTOR試験）
***c：**EF著明低下とは、EF＜35%（VICTORIA試験）またはEF<31%（VICTOR試験）
なお、Web資料（３）で詳述したが、背景因子が一貫してベルイシグアト群に有利であったことを考慮すると、メタ解析結果（HR＝0.89)を含めて、主アウトカムのリスク低下を示す信頼できる根拠として採用することは困難である。まして、1.5年以降の長期予後に関しては、症状、主アウトカム、総死亡を含めて不明である。